

シンポジウム 1

MRI班

「エキスパートに学ぶMR撮像技術」 座長集約

栗原市立栗原中央病院 放射線科 吉田 礼

本シンポジウムでは、日本磁気共鳴技術者認定機構(以下、JMRTS)で作成された上腹部領域の推奨撮像法について、新潟大学医歯学総合病院 診療支援部放射線部門の齋藤 宏明先生に御講演いただいた。

上腹部領域のMRI撮像は、他の領域と異なり呼吸など被検者固有の状態に合わせて撮像条件の調整などを行わなければならない。また複数の異なるベンダーに対してそれぞれの調整方法があるため、多くの検査担当者にとって最適な撮像法を構築するのが困難な状況がある。本講演のテーマである上腹部領域の推奨撮像法は、前述の問題に対してわかりやすくまとめた内容となっている。

本講演では、上腹部領域の推奨撮像法のコンセプトと概説として肝臓、膵臓、MRCP、小児、自由呼吸の5つについて、基本的なシーケンスの技術解説や撮像におけるポイント、各ベンダーにおけるアプローチなどをわかりやすくお話していただき、それぞれ説明していただいた。また、体動に強いシーケンスの設定条件やradial samplingを併用した自由呼吸下での撮像についても説明いただいた。

質疑応答では、多くのエキスパートの技師から詳細な質問があり、質疑応答ですべて解決できない事項もあったことから、エキスパートの技師においても改めて上腹部領域のMRI撮像は難しいものと考えられた。一方、上腹部領域において多くの検査担当者が最適な撮像法を構築するにあたり、推奨撮像法の有用性を確認することができた。

本講演を聴講された方には、本講演の内容と上腹部領域の推奨撮像法を実務に活かしていただければ幸いである。